

職長として必要な技能

---

# 鉄筋工

---



# 目次

1 職長の仕事の流れ	P.2
2 一日の仕事の流れ	P.16
3 安全管理	P.20
4 部下の指導	P.22



# 1 職長の仕事の流れ

1.1 現場の職長に任命される

P.3

1.2 加工帳を作成する

P.9

1.3 送り出し教育を行う

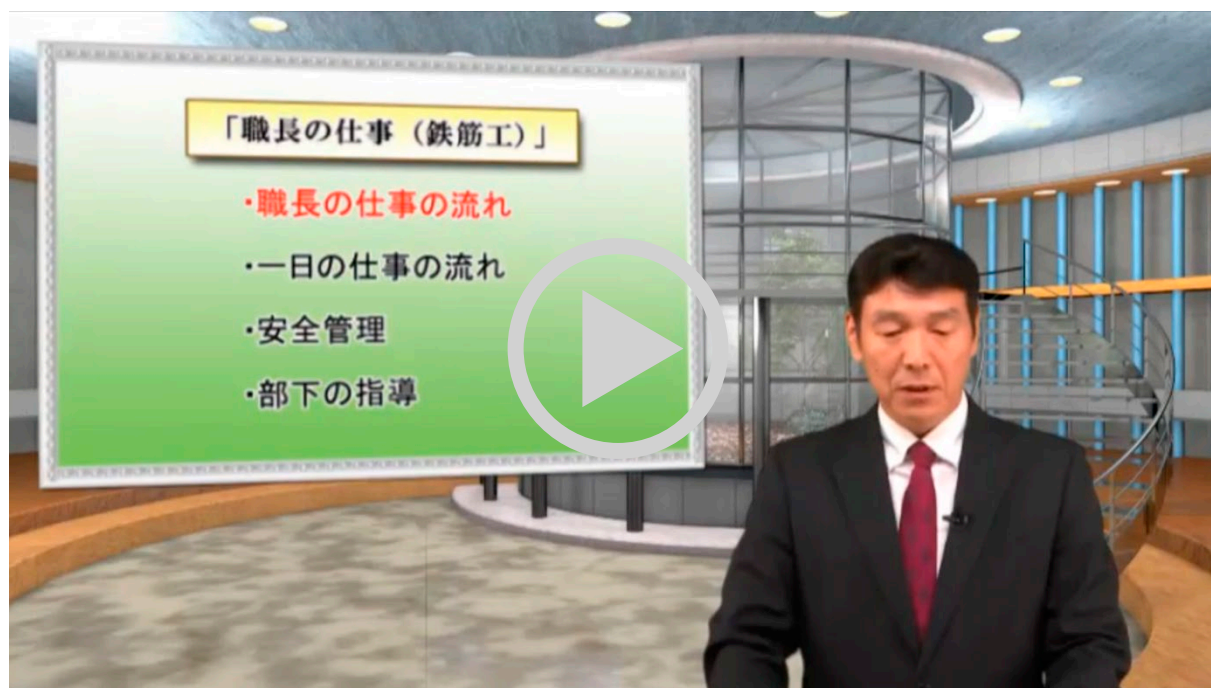
P.11

1.4 現場打合せの参加

P.14

1.5 人員配置

P.15



こちらのQRコードからも動画を再生できます





# 1.1 現場の職長に任命される

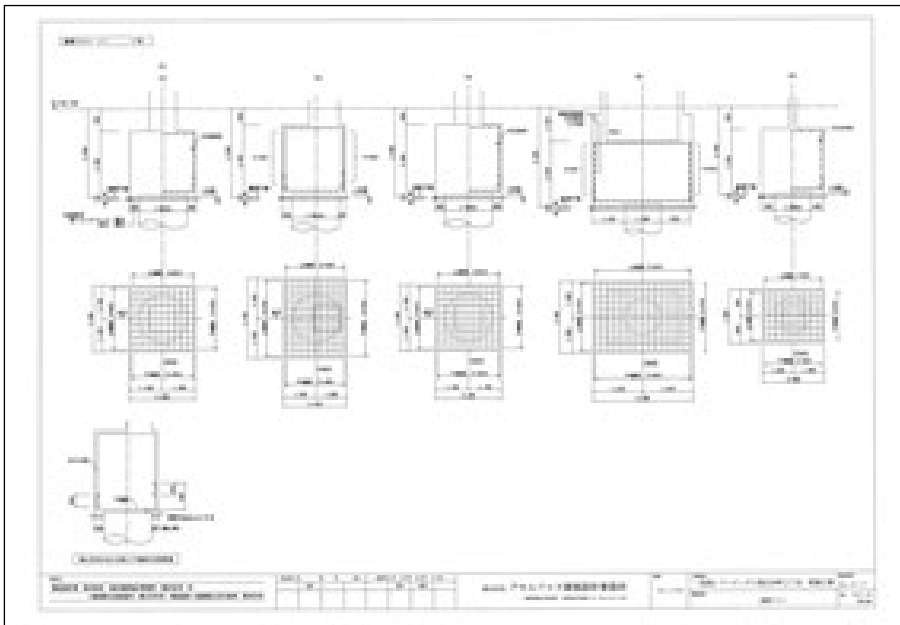
## 標準仕様書

This technical drawing, titled '吊钩投影机规格书(1) 2015年版' (Hanging Projector Specification (1) 2015 Edition), provides detailed specifications and diagrams for a projector. It includes:

- 1-1 概要 (Overview):** Lists key features such as '吊钩投影机' (Hanging Projector), '吊钩投影机' (Hanging Projector), and '吊钩投影机' (Hanging Projector).
- 1-2 主要仕様 (Main Specifications):** A table detailing technical parameters like resolution, brightness, and lens type.
- 1-3 主要部品 (Main Components):** A list of parts and their specifications.
- 1-4 主要図 (Main Diagrams):** Multiple views including front, side, and top views of the projector, along with detailed views of the mounting bracket and lens assembly.
- 1-5 主要寸法 (Main Dimensions):** A table of dimensions for the projector and its components.
- 1-6 主要材料 (Main Materials):** A list of materials used in the construction.
- 1-7 主要色 (Main Colors):** A list of color options for the projector.

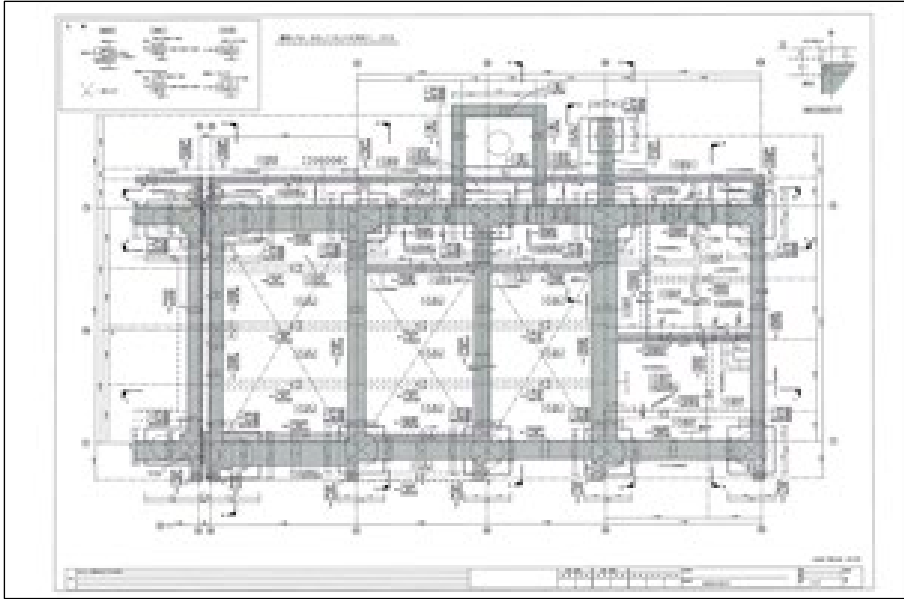
The drawing also includes a table for '吊钩投影机规格书(1) 2015年版' and a table for '吊钩投影机规格书(1) 2015年版'.

## 構造図



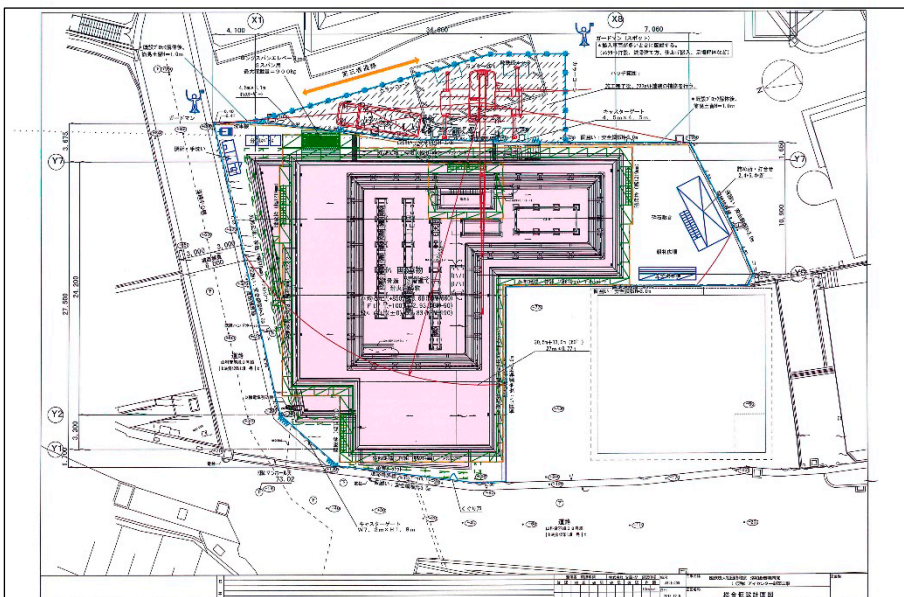
# 1.1 現場の職長に任命される

## 施工図



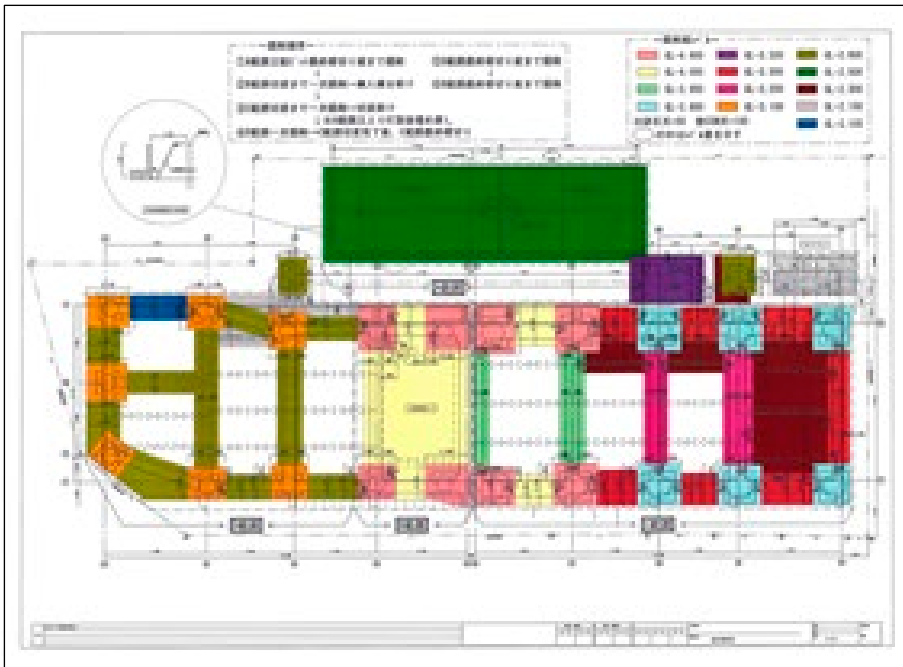
■ 計画図：仮設計画図、生コン打設計画図、床付計画図、  
工程表、揚重計画図など

## 仮設計画図

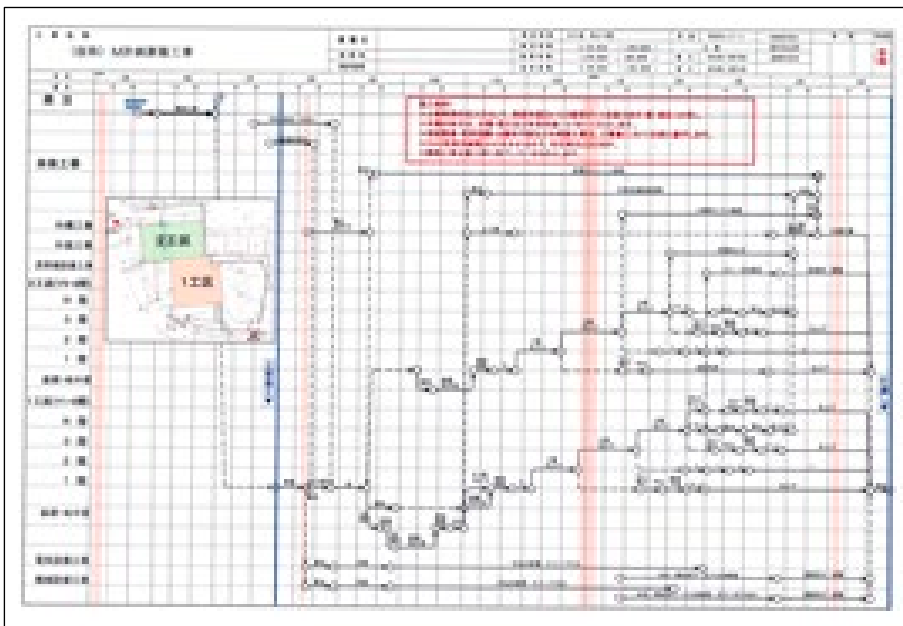


# 1.1 現場の職長に任命される

## 床付計画書

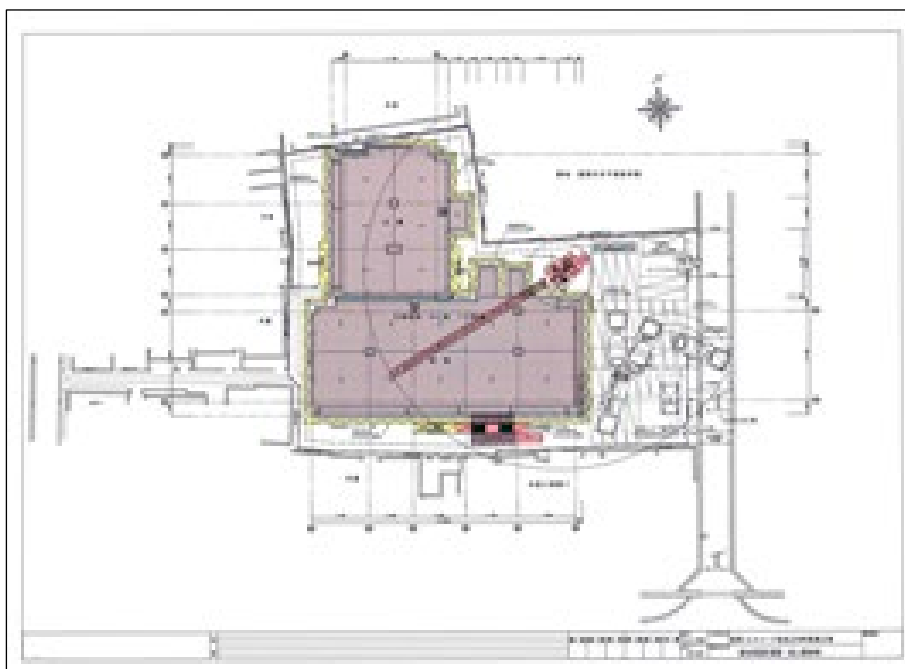


## 工程表



## 1.1 現場の職長に任命される

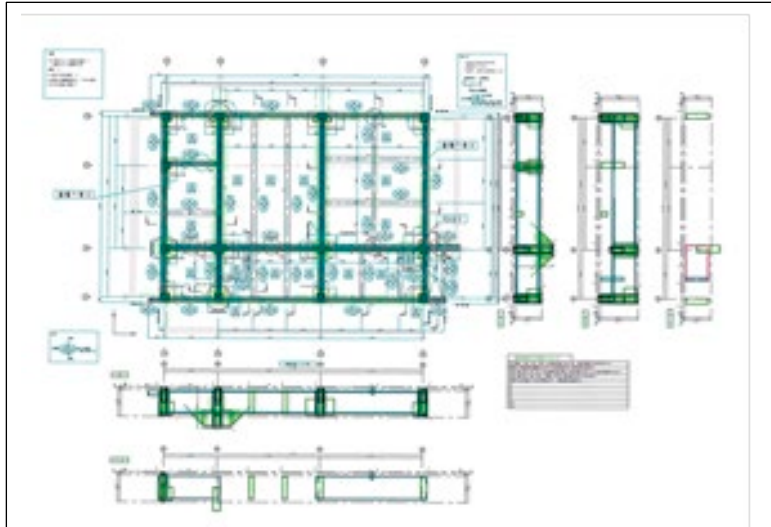
### 揚重計画図



## 1.1 現場の職長に任命される

- ・ 打合せのための準備として収まりの検討、質疑書の作成、特殊な工法、資材の有無などを確認する。

### 収まり検討図



- ・ 上記の情報を基に質疑書を作成し、監督員を通じて設計監理者へ提出する。
- ・ 必要に応じて現場において打合せ、または施工前協議を行う。

### 質疑書

項目	確認事項	確認内容	確認結果	確認日時	確認場所
1. 基礎	基礎の形状・寸法・位置が設計図書と一致しているか。	基礎の形状・寸法・位置が設計図書と一致している。	OK	2023/10/10	現場
2. 柱	柱の位置・寸法・位置が設計図書と一致しているか。	柱の位置・寸法・位置が設計図書と一致している。	OK	2023/10/10	現場
3. 梁	梁の位置・寸法・位置が設計図書と一致しているか。	梁の位置・寸法・位置が設計図書と一致している。	OK	2023/10/10	現場
4. 床	床の位置・寸法・位置が設計図書と一致しているか。	床の位置・寸法・位置が設計図書と一致している。	OK	2023/10/10	現場
5. 壁	壁の位置・寸法・位置が設計図書と一致しているか。	壁の位置・寸法・位置が設計図書と一致している。	OK	2023/10/10	現場
6. 屋根	屋根の位置・寸法・位置が設計図書と一致しているか。	屋根の位置・寸法・位置が設計図書と一致している。	OK	2023/10/10	現場
7. 外装	外装の位置・寸法・位置が設計図書と一致しているか。	外装の位置・寸法・位置が設計図書と一致している。	OK	2023/10/10	現場
8. 内装	内装の位置・寸法・位置が設計図書と一致しているか。	内装の位置・寸法・位置が設計図書と一致している。	OK	2023/10/10	現場
9. 設備	設備の位置・寸法・位置が設計図書と一致しているか。	設備の位置・寸法・位置が設計図書と一致している。	OK	2023/10/10	現場
10. 仕上げ	仕上げの位置・寸法・位置が設計図書と一致しているか。	仕上げの位置・寸法・位置が設計図書と一致している。	OK	2023/10/10	現場

## 1.2 加工帳を作成する

質疑回答書、現場打合せを基に加工帳を作成する。  
(拾い出し作業)

加工ルール、加工指示などできるだけ間違いや勘違いを発生させないような工夫が必要。

(Rの大きさ、寸法の指示、角度の指示、3D表示など)

- ・現場においては予備も必要な場合もあるが、残りすぎには注意する。
- ・加工作業を指示する場合は、搬入日を指示する必要がある。
- ・梱包の方法、員数の指示など細部にわたる。
- ・一般的に、建築工事と土木工事では作成手順や注意点が大きく異なる場合が多い。

### 加工帳

20180316 16:39		得意先名		FAX07289079		P.001/002	
2018年 3月 16日		外構 3号A号 (3号2号)		No. 001-002			
現場名 鶴沼南校		班名 2号		部位 A部3号		搬入日 3/16予定	
名称	形状	径	長さ	本数	箇所	合計	定尺
		m	m	本		本	m
1	1000	1300	160	13	2400	18+6	2/
2	1000	390		1400	12+3		2/
3	1000			2700	18+3		2/
4	1000			1000	18+3		2/
5	1000	1650	160	1350	18+6		2/
6	1000	1120		10	8+4		12
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							

### ■配筋指示図

加工帳作成時に配筋指示図を作成する。

（配筋指示図を作成してから、加工帳を作る方法は人により異なる。）

加工帳に書き込まれている場合もある。

## 1.3 送り出し教育を行う

現場作業員と運搬作業の運転手に、送り出し教育資料を基に現場ルール、配筋手順、安全注意事項などを周知する。

### 送り出し教育資料

The screenshot displays a software interface for '送り出し教育資料' (Delivery Education Material). The interface is divided into several sections:

- Header:** 'DCC1 搬送機' (DCC1 Conveyor) and '送り出し教育資料 画面概要' (Delivery Education Material Screen Overview).
- Form Fields:** Fields for '作業内容' (Work Content), '作業場所' (Work Location), '作業日' (Work Date), '作業員' (Worker), and '作業時間' (Work Time).
- Diagram:** A schematic diagram showing a conveyor system with a red dashed line indicating a path or sequence of operations. A red box highlights a specific component or area.
- Text Content:** Detailed instructions and safety notes in Japanese, including sections for '作業手順' (Work Procedure) and '安全事項' (Safety Items).
- Table:** A table at the bottom with columns for '作業内容' (Work Content), '作業場所' (Work Location), '作業日' (Work Date), '作業員' (Worker), and '作業時間' (Work Time).

## 1.3 送り出し教育を行う

### ■現場ルール

搬入経路、作業時間、現場閉所日、立入禁止場所、資料の扱い、現場一斉清掃、その他近隣協定など

#### 現場ルール

The poster is titled "現場ルール" (Site Rules) and contains the following sections:

- 現場概要 (Site Overview):** A table listing site details such as name, address, and contact information.
- 作業時間 (Working Hours):** A table showing the schedule for different types of work.
- 立入禁止場所 (No Entry Areas):** A diagram of the site with red circles indicating restricted zones.
- 安全対策 (Safety Measures):** A list of safety protocols and emergency procedures.
- 近隣関係 (Neighborhood Relations):** A table detailing agreements with nearby residents and businesses.
- その他 (Other):** Additional site-specific rules and instructions.

項目	内容
現場名称	〇〇ビル新築工事
所在地	〒〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇
連絡先	〇〇〇〇 〇〇〇〇

作業種別	作業時間
基礎工事	08:00 - 17:00
躯体工事	08:00 - 17:00
設備工事	08:00 - 17:00

場所	理由
〇〇〇	高圧電線
〇〇〇	危険な作業

近隣関係者	関係内容
〇〇〇	騒音対策
〇〇〇	交通規制

## 1.3 送り出し教育を行う

### ■配筋手順

加工帳、図面、配筋指示図などはその配筋場所を任せる作業員（班長など）に配布し、注意点などを伝える。

### 作業手順書

C-V-7

鉄筋工事 作業標準書			
作業名	7 壁鉄筋組立作業	会社名	
対象範囲	一般壁、耐力壁、壁脚、基礎配筋作業	工事名	
作業期間	社 年 月 日～社 年 月 日	現場代理人	
		作成者	日 年 月 日
主な設備、使用機械		周知記録（署名）社 年 月 日	
電動キッター			
タワーマシン、レベラー、高圧作業車			
主な使用工具、器具			
手ハッジ、ハッジ、			
ワイヤカッター、脚立、空機			
玉掛ワイヤロープ、分掛ロープ、シャックル			
安全設備、保護具			
ヘルメット、安全帯、保護手袋、安全靴			
使用材料		工事事務所との行合事項	
必要資格等		有資格者名	
玉掛技術講習修了者			
		受領日 日 年 月 日	
		工事事務所名	
		班 長	
		担当者	

11

### ■安全注意事項

現場ルールに重複する場合もあるが、配筋作業を行う上で特に注意すべき事項は事前に伝えておく。

## 1.4 現場打合せの参加

### 現場打合せの参加

- ・ 毎日の現場打合せに参加し、翌日の揚重機の手配、搬入予定、予定人員、作業進行状況の報告
- ・ 設備の要望、配筋乱れが発生しない様に注意を呼び掛けるなど、特に他業種との調整は重要

### 人員配置

- ・現場では工程の流れが変更になる状況がしばしば発生するため、その都度予定人員を増員させなければいけない状況が多い。
- ・会社の規模によってはこの作業を行うための担当者がある場合もある。

## 2 一日の仕事の流れ

2.1 朝礼参加

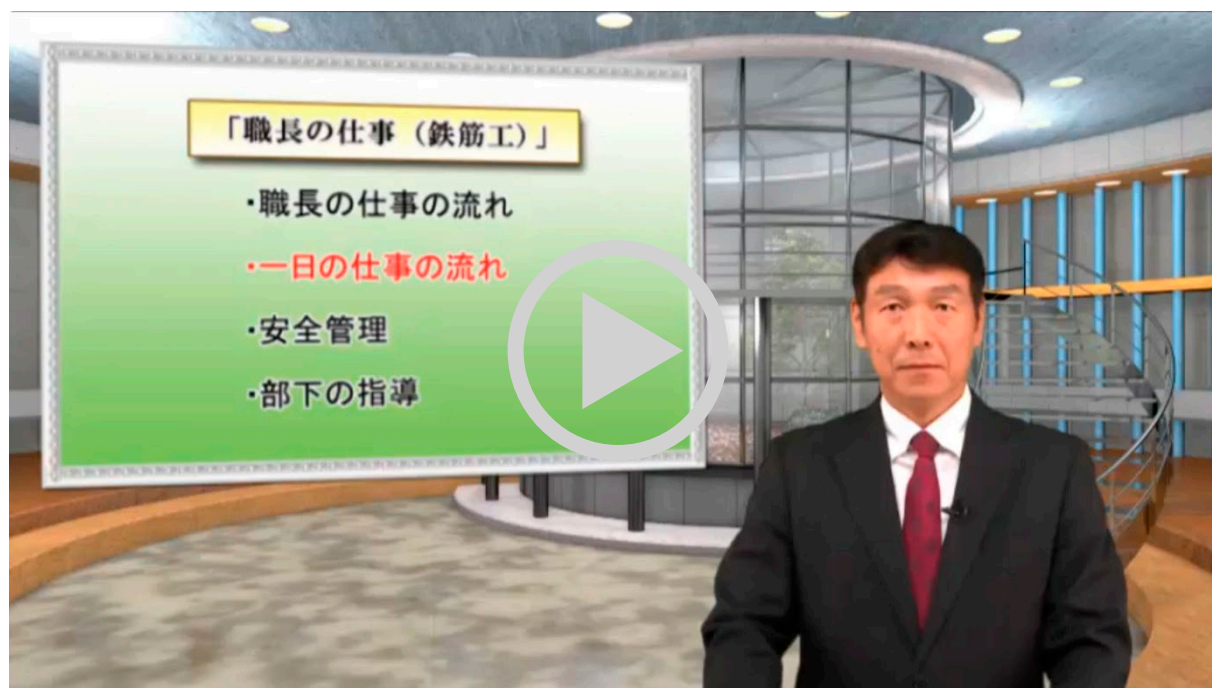
P.17

2.2 現場巡回

P.18

2.3 配筋検査

P.19



こちらのQRコードからも動画を再生できます



## 2.1 朝礼参加

### 朝礼参加

- ・ 朝礼に参加し、作業員の体調を確認する。
- ・ ラジオ体操の指導、声掛け、挨拶の励行などを促す。
- ・ その日の現場の動線や立入禁止場所、作業手順の変更などを確認し、指示する。
- ・ 指示した内容をKYボードなどに記入し、掲示板に表示する。
- ・ 使用工具の点検をする。



### 現場巡回

- ・ 各作業箇所の状況や進行度合いの確認を行う。  
(揚重状況、搬入状況、高所作業・脚立・立馬作業の状況、配筋精度の状況など)

## 2.3 配筋検査

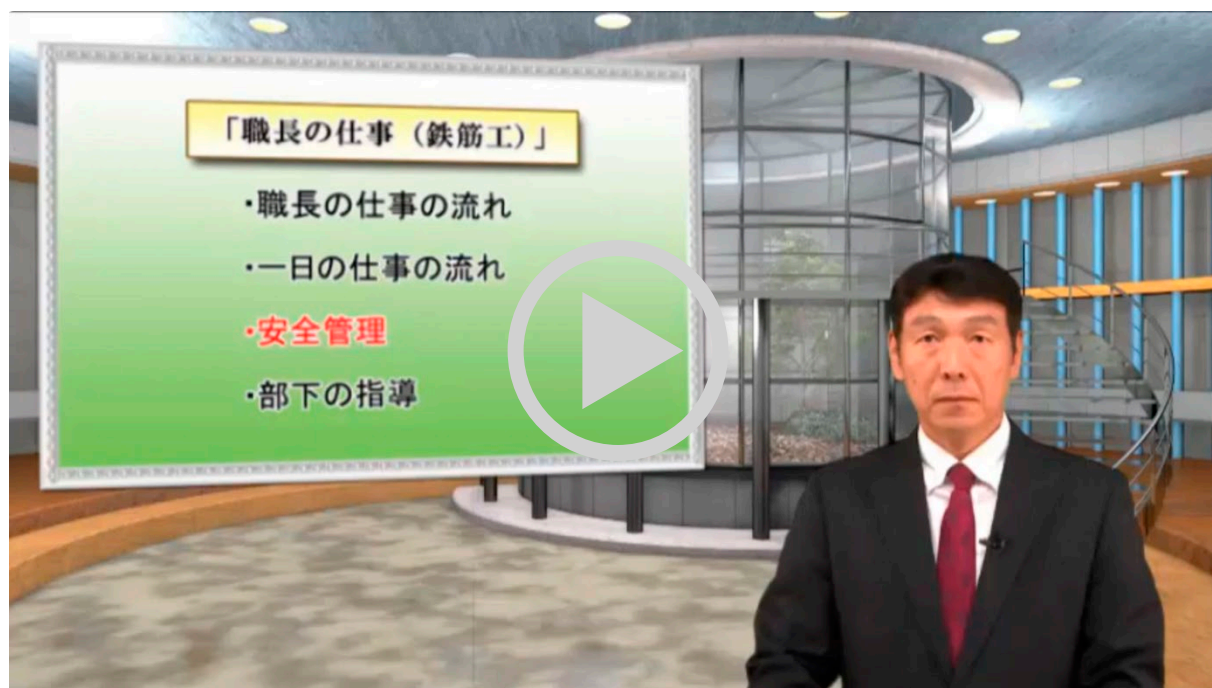
### 配筋検査

- ・ 自主検査資料の作成、チェックシートの作成、検査方法の提案などを行う。
- ・ 配筋検査の立ち合いを行う。

# 3 安全管理

## 3.1 安全管理のポイント

P.21



こちらのQRコードからも動画を再生できます



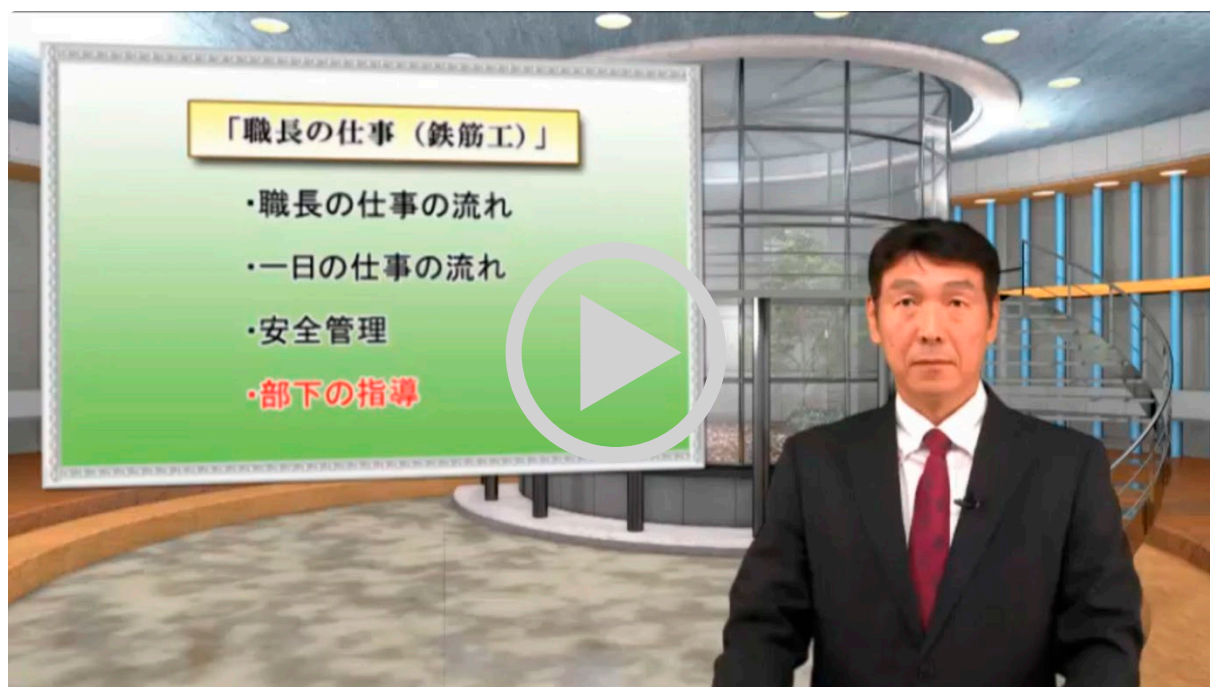
## 3.1 安全管理のポイント

- 材料揚重作業においては集積場所の制限荷重を確認し、バタ角などの置き方にも注意する。
- 玉掛け作業においては玉掛用具の点検を行い、荷崩れの恐れなども十分考慮する。
- クレーン操作の注意点、リミッターの範囲なども確認する。
- 使用する足場は作業前点検を行い、不備などがある場合は即時監督員に報告する。
- 上下作業が発生しないように人員配置を行う。
- 開口養生の確認を行い作業床端部では安全帯が使用できる設備が整っているか確認する。
- 鉄筋の立てかけによる倒壊や、組立の進行による過負荷にて、瞬時に発生する崩壊などに注意する。
- 工具類の操作ミスによるケガを考慮し、必要な保護具を使用させる。

# 4 部下の指導

## 4.1 部下の指導ポイント

P.23



こちらのQRコードからも動画を再生できます



## 4.1 部下の指導ポイント

- 作業員ごとの得意分野（不得意分野）の洗い出しを行う。ペアの組み合わせにより作業全体をスキルをアップさせる。
- 技能資格取得のための指導を行う。
- やらせる難しさを考慮し、やらせる勇気は必要。間違いから覚えることは多い。上手くいったら褒める習慣も必要。
- 自分が言葉足らずになりやすいので注意する。
- やる前に考えるようにさせるには、やらせて経験させてから考えさせてみる。
- 技術レベルの存在を意識させ、プライドを持たせてやる気の向上をはかる。
- 注意の仕方は状況によって様々なので、考えて行う。
- 現場の状況を把握し考え、思い込みで指示しない。
- 他職との対応の仕方、言葉遣いなどに注意を払う。
- コミュニケーションは仕事以外で生まれやすいのではないか。（レクリエーションなど）
- 仕事の話はできるだけ作業の中で行う。

## 製作

職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会

## 監修

公益社団法人 全国鉄筋工事業協会

## 講師

株式会社 城東鉄筋  
森山 直樹

## 協力

飯島鉄筋工業 株式会社  
公益社団法人 全国鉄筋工事業協会  
有限会社 ソリューションゲート  
株式会社 建築資料研究社  
日本マルチメディア・イクイップメント 株式会社

平成30年3月30日

「建設技能トレーニングプログラム」ホームページ

建トレ

